

ポポポ 新聞

[Ponpoko News]

第 72 号



=発行=

2020年4月5日

喜多見ポポコ会議

<http://ponpoko.jp.org>

PASMO残高を調べる

従来からある路線バスも「こまバス」も交通系ICカード(PASMOなど)で乗車できます。このカード残高は自動販売機のうちICカード対応機種なら、飲料ボタンを押さずに、カードをかざすだけで残高が表示されます。



最強！シルバーパス

70歳以上で都内に住民登録をしている人なら、千円あるいは2万円程度で「シルバーパス」(10月1日～翌年9月30日)を購入でき、東京都内の大部分の乗合バス、都営地下鉄、都電などに乗車でき、大変お得です。

深大寺へ行く方法

喜多見から深大寺へ行くには、①「玉08」から調布駅経由で「調34」に乗り継ぐ方

世田谷区によると最寄りのバス停から200m以上または鉄道駅から500m以上離れている公共交通不便地域は喜多見では主に「二・四・七丁目」にあるそうです。皆さんが行きたい場所は、まずは通勤・通学で鉄道駅、日用品や色々な買物ができる店、病院、役所、銀行、行楽地などでしょうか。

ちよつと小ぶりの「喜01」と「こまバス」に乗って出来ることを探してみました。

法、②喜多見駅の「喜01」から狛江ハイタウン折返場で「丘19」に乗り継ぎ、つじヶ丘駅経由で「丘21」に乗る方法があります。②の「喜01」は大回りするので時間が掛かりますが状況によってはお勧めです。ただ、自転車も併用できるなら喜多見ふれあい広場北側の駐輪場に置いて「丘19」と「丘21」で行く方法もあります。



「こまバス」に乗ってみて

喜多見から総合病院へ行く場合、関東中央病院、玉川病院、慈恵医大第二病院が思い浮かびます。慈恵医大第二病院へは①「玉08」と②狛江市の循環バス「こまバス」を使う方法があります。

喜多見中学校はす向かいのバス停「こまえ苑」から「こまバス」に乗ると京王ストア手前を右に曲がり世田谷通りへ出て喜多見駅、狛江駅、ユニティの近くを通り慈恵医大第二病院の正面玄関前に停車、その後『ポポポコ新聞』で取材した銭湯「富の湯」、狛江駅、和泉多摩川駅、酒屋「籠屋」前を通り「こまえ苑」に戻ります。①は「喜多見駅入口」から順調なら20分、②は「こまえ苑」から40分、時間は2倍掛かりますが、住む場所によつてはお勧めです。なお、「こまバス」は片方向にしか進まず間違えて乗ると大変なことになるので事前に運行コースをよく見ておきましょう。



こまバス 約40分に1便、2台のバスが市内を8の字を描くように循環します。狛江駅北口でこまバス同士の無料乗継ができます。

喜多見の課題

改めてバス路線図を見ると、喜多見から二子玉川駅や狛江駅へは比較的行きやすいのですが、成城学園前駅や喜多見駅へ行きにくいことに気づきます。成城学園前駅へ行ければ周辺に総合支所や銀行もありますし、「渋24」で関東中央病院や世田谷区役所にも行きやすくなります。

既に買物難民が発生しているようなら、出掛けたい人・来てほしい人のニーズを調整して予約制の乗り合いタクシートの導入を検討しても良さそうです。



バスで お出掛け

怪我や病気、運転免許返納など、どうやって目的地へ行こうかと悩む事態が起こるかもしれません。そんな時に頼りになるのがバスです。バスに注目して最近の交通事情を探ってみました。



写真上：喜多見駅と小田急バス「喜01」/図：世田谷区「世田谷区全図」2018.11 裏面/写真下：深大寺門前の蕎麦屋

なんじゃもんじゃ



2013年4月27日撮影

知行院(喜多見五丁目)のイチヨウの手前に、なんじゃもんじゃの木(ヒツバタゴ)があります。知行院は今回表面で取材した深大寺の末寺で、この木は深大寺からいただいたものだそうです。例年、4月下旬から開花し、ゴールデンウィークに満開を迎えます。「なんじゃもんじゃ」は、珍しい樹木を「これはなんというものじゃ?」と尋ねたことから呼ばれるようになった愛称で、特定の植物の種名ではありませんが、ヒツバタゴを指すことが多いそうです。

世田谷区名木百選の結果

昭和61年度に選定された名木のうち95件に新たに55件を加えた、合計150件が選ばれました。喜多見では、前号で紹介したうちの「イチヨウ」と「ムクノキ」のほか、新たに砧小学校の「ソメイヨシノ」と喜多見3-8にある「ケヤキ」が加わり7件になりました。ただ、募集内容に書かれていたことと推薦後に聞いた選定基準、番外編の扱いなど、釈然としない結果に終わり残念です。

アン・スー



世田谷区宇奈根3-4-7、電話6411-1813

旅とコーヒーが大好きなマスターと奥様が3年前に始めたカフェ「旅とコーヒーand ROASTER Un Sou(アン・スー)」には、世界各地から集めたコーヒーが15種類もあります。

大人気の「海苔しらすホットサンド」をはじめ、太麺のパスタ、スイーツなど充実のラインアップです。お腹だけでなく、ココロを満たしたい方は太宰治、村上春樹などの短編小説(1冊162円)をどうぞ。夜はバル料理と自然派ワインが好評。リトミック教室、雑貨やアクセサリなどを集めた展示即売会「奥ふたこアートフェス」、宇奈根の農家の野菜販売なども開催するそうです。

店の入口の暖簾や店紹介の冊子などは、心得のあるお客さんとともに作ったものとか。学生や単身の勤め人、子連れのママ、水道道路にはためく幟を見てくる人や常光寺の参拝者も。奥のソファではおしゃべりをしながら縫物をする方々。思い思いの時間を過ごし、出会い、時には共に何かをする機会が生まれる、交差点のようなお店です。

みどりの物々交換会



植物好きな小学生とも話がはずみます

ポンポコでは2016年から喜多見地区区民まつりで「みどりの物々交換会」を行い、昨年秋で4回目になりました。増えすぎた植物や種を持ち寄って、欲しい方に無料で差し上げるのです。

我が家(佐藤)ではオリヅルランが増えて困っていました。このオリヅルラン、亡き母が20年以上も前に世田谷区の催しでいただいてきた一鉢から増えたもので、春から夏にかけて白くて小さい可憐な花を咲かせます。どなたか、もらってくれるとありがたいと思い、出品しました。「これ欲しかったの」と言って笑顔で持って行ってくださる方がいてホッとしました。ポンポコメンバーが出品するものの中で人気が高いのは「ライムポトス」です。そして「去年もらったものが花を咲かせました」と報告を受けた時はポツと気持ちが温くなりました。出品してくださる方も少しずつですが増えてきました。4月下旬になったら、いただいた「日本朝顔」の種をまいて、夏に咲いたらその種を今年の物々交換会に出品する予定です。

冬も野川へ



クサガメ初収穫

2月22日(土)、冬の野川ガサガサを行いました。1時間ほどごみ拾いをした後、生きもの調査。今回クサガメを初めて捕まえました。暖冬の影響か、メダカも多く62匹、ウシガエルの卵など、計17種類261匹の収穫でした。

* * *

昨年6月に野川の神明橋上流から取り木トラストビジターセンター横の広場に移植したオオシマザクラに花が咲きました。無事根付いたようです。

INFORMATION

春の野川ガサガサ

[日時] 4月19日(日)

ごみ拾い 10:00~10:30

生きもの調査 10:30~12:00

[持物] 川用の靴、あれば玉網・バケツ

[集合] 次大夫堀公園築山横の野川階段

[申込] 喜多見児童館tel. 3417-9151

- ・天候不良の場合は4月26日に延期します。
- ・夏は7月19日に行う予定です。時間等詳細はホームページや現地ポスターをご覧ください。